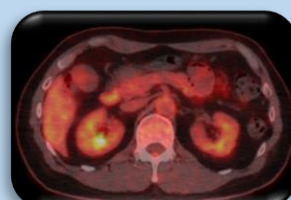
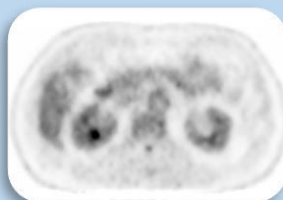




PET-CT検査とは PETとCTを重ね合わせて評価する検査です



PET画像（代謝と機能を把握）

CT画像（形と位置を把握）

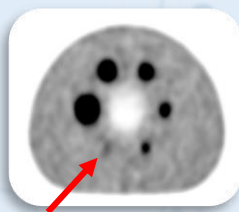
融合画像（PET+CT）

2022年10月から新装置になり性能がグレードアップしました

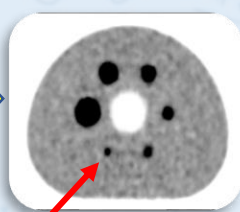
従来よりも◆精密で、患者さんに♥優しい検査になりました

◆微小病変も明瞭に描出！

模型の中の様々の大きさの球に同じ濃さの薬剤を入れて撮影した画像です。直径1cmの一番小さな球（→）は、旧装置では淡くしか写っていませんが、新装置ではしっかり確認でき、小さな病変まで評価可能になりました。



従来装置



新装置



被ばく量が従来より20-30%減少！

装置の感度向上により、放射性医薬品の使用量を減らすことが可能になりました。



腕を下ろした楽な姿勢に！

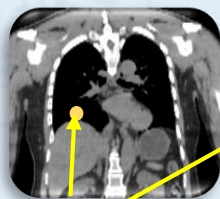
画像に影響するため、従来は30分近く腕を挙上して撮影を行っていましたが、新装置では、人工知能を用いて影響を軽減する機能が画像処理に追加されたため、腕を下ろして撮影することが可能になりました。

◆横隔膜付近の位置ずれ補正機能が追加！

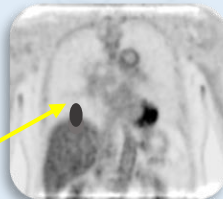
PETとCTでは撮影／収集の時間が大きく異なります。

PET（分単位） >>> CT（秒単位）

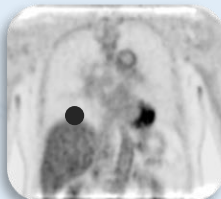
PET撮影中は息をはいた状態から吸った状態までの画像を含み横隔膜周辺の組織や病変の輪郭がぼやけてしまいます。新装置では呼吸の動きを感知し、同じ呼吸位置のデータを抽出して画像が作られるため横隔膜付近の病変の集積を正確に評価しやすくなりました。



病変



従来装置



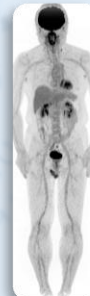
新装置

◆下肢まで評価を追加！

従来と同じ時間で、短時間の全身撮影を追加できます。下肢まで全身を評価できるようになりました。



従来装置



新装置



装置の
搬入風景



患者さんにとって
いいこといっぱい
ですね♪

